

令和8年 4月 1日

松江市議会議長 野々内 誠 様

松江市議会議員 原田 守

令和7年度政務活動費収支報告について

松江市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

松江市議会議員 原田 守

1 収 入

政務活動費 275,000 円

2 支 出

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | 備 考 |
|-----------|--------|-----------------------------|
| 研 究 研 修 費 | 98,110 | 第20回全国市議会議長会研究 フォーラムin札幌 |
| 調 査 旅 費 | | |
| 資 料 購 入 費 | | |
| 資 料 作 成 費 | | |
| 合 計 | 98,110 | |

3 残 額 176,890 円

(注)備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

令和7年度 政務活動費使用簿 (議員)

| | | | |
|-------------------|-----------------------------|----------|--------------|
| 管理番号 | 1 | | |
| 使途項目 | 調査旅費 | | |
| 使途内容 | 第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌 | | |
| 調査年月日 (購入年月日) | 令和7年8月26日(火) ~ 令和7年8月28日(木) | | |
| 政務活動費 支出額及び充当額 | 【支出内訳】 | 支出額 | (うち政務活動費充当額) |
| | ・ 旅費 | 89,110 円 | 89,110 円 |
| | ・ 参加費 | 9,000 円 | 9,000 円 |
| | ・ | 円 | 円 |
| | ・ | 円 | 円 |
| | ・ | 円 | 円 |
| | ・ | 円 | 円 |
| | ・ | 円 | 円 |
| | ・ | 円 | 円 |
| | ・ | 円 | 円 |
| | ・ | 円 | 円 |
| 合計額 | | 98,110 円 | 98,110 円 |
| 備考 | | | |

議員名 【 原田 守 】

旅費請求書

議員名

原田 守

| 用務先 | | 北海道札幌市 | | | | | | | | | | |
|------------------|----|-------------------------|------------------------|------------------|---|--------|-------|--------------|---------------------|------------------------------|-----|--|
| 用務内容 | | 第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌 | | | | | | | | | | |
| 出張期間 (出発及び帰市) | | | 令和7年8月26日～令和7年8月28日 | | | | | | | (2泊3日) | | |
| 年月日 | 曜日 | 出発地・到着地・用務地 | 用務先 用務時間 | 交通費(鉄道・航空・船・その他) | | | | 宿泊費 包括宿泊費 | 宿泊手当 | | その他 | |
| | | | | 距離 | 区分 | 運賃等 | 特別料金等 | | 定額 夕食 朝食 計 | 2,400 含まない 含む 1,600 | | |
| R7.8.26 | 火 | 松江市 札幌市 | | | 航空 25,800 鉄道 1,230 鉄道 210 | | | 13,200 | | | | |
| R7.8.27 | 水 | 札幌市 札幌市 札幌市 | 札幌文化芸術劇場 9:15～16:50 | | 鉄道 210 鉄道 210 | | | 13,200 | 定額 夕食 朝食 計 | 2,400 別途支給 含む 800 | | |
| R7.8.28 | 木 | 札幌市 札幌市 松江市 | 札幌文化芸術劇場 9:00～11:00 | | 鉄道 210 鉄道 210 鉄道 1,230 航空 31,000 | | | | | | | |
| 小 計 | | | | | | 60,310 | | 26,400 | | 2,400 | | |
| 合計 | | 89,110 円 | | | | | | | | | | |

- 注
1. 距離(km)は、市外自家用車利用の場合のみ記入
(自家用車はgoogle地図上で計測した移動距離)
 2. 特別料金は特急料金、急行料金、グリーン料金
 3. 路程の補足・金額根拠は、Yahoo!路程検索等の写添付(該当箇所マーカー)
 4. 変更を朱書した場合は、理由を備考に記入
 5. 使途に従い不用の文字は抹消して使用すること。

備考

出雲空港までは自家用車使用。用務開始時間に関に合わないため前泊する。
 宿泊先は主催者指定、2泊朝食付き、夕食なし。
 ただし、27日の夕食代はフォーラム参加費に含まれるため宿泊手当から減額する。

路程欄
















別紙のとおり

出雲空港→伊丹空港(大阪)→ホテル ロンシャンサッポロ 2025年08月26日(火)平均

5時間19分 (乗車3時間29分)

乗換: 3回 1571.2km

現金優先: 95,770円

| | | |
|---|--|---------|
|  出雲空港 | | |
| 65分 |  空路(大阪-出雲) | 29,930円 |
|  伊丹空港(大阪) | | |
| 105分 |  空路(大阪-千歳) | 64,400円 |
|  新千歳空港(札幌) | | |
| 7分 |  徒歩 | |
|  新千歳空港(鉄道) | | |
| 35分 |  JR快速エアポート | 1,230円 |
|  札幌 | | |
| 5分 |  徒歩 | |
|  さっぽろ | | |
| 4分 |  札幌市営東豊線 | 210円 |
|  豊水すすきの | | |
| 3分 |  徒歩3分 出口: 出口5 | |
|  ホテル ロンシャンサッポロ | | |

ホテル ロンシャンサツポロ → 札幌文化芸術劇場hitaru

2025年08月27日(水)08:55到着

08:39発 → 08:54着 15分(乗車2分) 乗換: 0回 1.1km

現金優先: 210円 定期券 通勤: 1か月 8,820円 / 3か月 25,140円 / 6か月 - 円

08:39 徒歩 ホテル ロンシャンサツポロ

徒歩3分 出口: 出口5

08:42着
08:46発 豊水すすきの

乗車位置: [4両] 前

札幌市宮東豊線 栄町行 [発] 2番線 → [着] 2番線

210円

08:48着
08:52発 大通

徒歩2分 出口: 出口3 1

08:54 札幌文化芸術劇場hitaru

札幌パークホテル→ホテル ロンシャンサッポロ 2025年08月27日(水)19:00出発

19:00発→19:15着 15分(乗車1分)



乗換:0回

1.4km

④ 現金優先:210円 定期券 通勤:1か月 8,820円 / 3か月 25,140円 / 6か月 - 円

| | | | |
|------------------|---|-------------------------------|-------------|
| 19:00 | 発 | 札幌パークホテル | |
| | | 徒歩1分 出口:出口1 | |
| 19:01着 19:04発 | ○ | 中島公園 | 乗車位置:[6両]中後 |
| | | 札幌市営南北線 麻生行 [発] 2番線 → [着] 2番線 | 210円 |
| 19:05着 19:08発 | ○ | すすきの | |
| | | 徒歩7分 出口:出口5 | |
| 19:15 | 着 | ホテル ロンシャンサッポロ | |

ホテル ロンシャンサッポロ→札幌文化芸術劇場hitaru

2025年08月28日(木)08:50到着

08:32発→08:47着 15分(乗車2分)



乗換: 0回

1.1km

④ 現金優先: 210円 定期券 通勤: 1か月 8,820円 / 3か月 25,140円 / 6か月 - 円

08:32 乗 ホテル ロンシャンサッポロ

徒歩3分 出口: 出口5

08:35着
08:39発

水すすきの

乗車位置: [4両] 前

札幌市営東豊線 栄町行 [発] 2番線 → [着] 2番線

210円

08:41着
08:45発

大通

徒歩2分 出口: 出口3 1

08:47 着 札幌文化芸術劇場hitaru

札幌文化芸術劇場hitaru→札幌→羽田空港(東京)→出雲空港

2025年08月28日(木)平均

5時間5分 (乗車3時間27分)

乗換: 3回 1742.3km

Ⓢ 現金優先: 86,260円

| | |
|----------------|--|
| 札幌文化芸術劇場hitaru | |
| 2分 | 徒歩2分 出口: 出口31 |
| 大通 | |
| 2分 | 札幌市営南北線 210円 |
| さっぽろ | |
| 5分 | 徒歩 |
| 札幌 | |
| 35分 | JR快速エアポート 1,230円 |
| 新千歳空港(鉄道) | |
| 7分 | 徒歩 |
| 新千歳空港(札幌) | |
| 90分 | 空路(東京-千歳) 39,820円 |
| 羽田空港(東京) | |
| 80分 | 空路(東京-出雲) 45,000円 |
| 出雲空港 | |

領収書貼付用紙

| 使 途 | 航空券・宿泊費 |
|----------------------------|---------|
| <p>【貼付欄】</p> <p>別紙のとおり</p> | |

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名 【 原 田 守 】

領 収 証

| | |
|-------|-------------------|
| 通 番 | ██████████ |
| 領収証番号 | 13367400100-09-52 |
| 発行日 | 2025年 8月 6日 |

原田 守 様

下記の金額正に領収いたしました

¥ 56,800 -

但し 8月26日 航空券代金として

8/26 JL2346 (出雲 /伊丹) 8/26 JL2009 (伊丹/新千歳)

8/28 JL516 (新千歳/羽田) 8/28 JL287 (羽田/出雲)

ご入金内訳 (今回のご入金額)

| 日 付 | 種 別 | 金 額 |
|------------|-----|---------|
| 2025/08/06 | 現 金 | ¥56,800 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合 計 金 額 | | ¥56,800 |

山陰支店
〒690-0003 島根県松江市朝日町
477-17
松江SUNビル7階
TEL: 0852-23-6720

| | |
|-------|------------|
| 出納責任者 | ██████████ |
| 取 扱 者 | ██████████ |



印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 品 川
税 務 署 承 認 済

作成地: 東京都品川区東品川 2-3-11

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。



領収証 RECEIPT

登録番号：T8010701012863

No. 2025-1133-01562

発行日：2025年10月7日

原田 守 様

下記の金額正に領収いたしました。

¥26,400*

株式会社JTB
北海道事業部
札幌市中央区北1条西6丁目1-2
アーバンネット札幌ビル8F 〒060-0001

2025年8月27日～2025年8月28日

但し 第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌の宿泊代（朝食付、夕食なし）として

※軽減税率対象

| 取引日 | 品名 | 単価 | 利用数 | 金額 | 備考 | 消費税 |
|-----|-----|---------|-----|---------|---------|--------|
| 1 | 宿泊代 | ¥26,400 | 1 | ¥26,400 | | 10% |
| 合計 | | | | ¥26,400 | | |
| 代金計 | | | | (税込) | うち消費税 | |
| | | | | ¥26,400 | ¥2,400 | |
| | | | | (10%対象) | ¥26,400 | ¥2,400 |

8月19日、銀行振込にて入金

| | |
|-------|------------|
| 出納責任者 | [Redacted] |
| 取扱者 | [Redacted] |



収入
印紙

領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

領収書貼付用紙

| 使 途 | フォーラム参加費 |
|----------------------------|----------|
| <p>【貼付欄】</p> <p>別紙のとおり</p> | |

(注意)

1. この用紙1枚につき、領収書1枚を貼ること。(ただしレシートを貼る場合は、本書の横にコピーも貼ること。)
2. 領収書サイズがこの用紙よりも大きい場合は、【貼付欄】に「別紙のとおり」と記入し、貼らずにそのまま添付してよい。

議員名

【 原田 守 】

第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌

令和7年8月19日

原田 守 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第20回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 丸子 善弘



金 9,000 円 (不課税・消費税対象外)

第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌の参加費として

令和7年8月27日・28日開催 (札幌市)

研究研修、調査 報告書

議員名 原田 守

1. 期 間 令和 8年 8月 26日(火) ~ 令和 8年 8月 28日(木)

2. 会 場 等 ① 8月 27日~28日 札幌文化芸術劇場 hitaru

②

3. 調査項目等 ① 「主権を預かる誇りと責任」について

② 「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」について

③ 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」について

4. 講師(対応者) ① 基調講演 伊吹 文明 氏 元衆議院議長

② コーディネーター 辻 陽 氏 近畿大学法学部 教授

パネリスト 牧原 出 氏 東京大学先端科学技術研究センター 教授

白石 洋一 氏 読売新聞東京本社 編集委員 政治部次長

山下 節子 氏 山口県宇部市議会 議長

長内 直也 氏 北海道札幌市議会 議長

③ コーディネーター 牧瀬 稔 氏 関東学院大法学部地域創生学科教授

事例報告 今井 康善 氏 長野県岡谷市前議長

平神 純子 氏 鹿児島県南さつま市議会議員

中野 進 氏 石川県白山市議長

5. 調査内容・所感等

① 演題「主権を預かる誇りと責任」として、伊吹 文明 元衆議院議長のご講演を拝聴しました。

現役時代と変わらぬ切れ味鋭い語り口で、主に三点の気づきをいただきました。

一つ目、市長と議会・議員は、ともに市民から直接選ばれる「二元代表制」の下で、「良い緊張関係」にある事が不可欠であること。議会が単なる追認機関では決してあってはならず、住民から付託されたものとして、行政の監視と牽制をすべきで責任があること。

二つ目、「主権を預かる」とは、国民・市民の皆様の権利を一時的に託されている立場にある事を明確に認識しなければいけない。議員一人一人には高い倫理観と説明責任が求められ、

自分自身の言動が、民主主義の本質に直結することを強く自覚すべきであること。

(様式3-2)

三つ目は、日本の統治の変遷を語られ、現行憲法に地方自治の規定が少ないことを嘆かれ、戦後、日本は鉄道、電話、郵便と次々民営化を行い、大きな改革を経て、現在の地方自治を形成している。時代は変わろうが、議会は、「言論の府」として、機能することが大切である。

ここから学ぶべきことは、我々議員一人一人が「主権を付託されていることに誇りと責任を持って行動する事」、執行部とは、「是々非々」の論議を交わし建設的な批判と提言を繰返し行うことが重要だと強く感じました。

② 続く、「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」がテーマのパネルディスカッションでは、大きく4点について議論がなされました。

一つ目、議員の責任の重さに見合った処遇のあり方や、一度とん挫している厚生年金への加入といった老後の生活保障を含む経済的基盤の整備について意見が交わされました。

二つ目、女性や現役世代が参加しやすいような環境づくりに言及し、議会のデジタル化やオンライン会議の活用や夜間・休日議会の開催など、議会の活動形態の柔軟化が必要であると指摘されました。

三つ目、若者に対する政治教育いわゆる主権者教育の強化、更にSNS等を活用した市民に対する「議会の見える化」の促進、更なる情報発信を通じ、政治への関心を高める重要性が議論されました。

四つ目、立候補者に女性の比率を一定数割り当てるジェンダー・クォータ制の導入の検討や現職議員によるメンター制度、ハラスメント対策など、新規立候補のハードルを下げるための具体的支援策が提言されました。

③ 2日目の課題討論の調査報告の時間では、「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」について、まず最初にコーディネーターの牧瀬氏より、情報提供がありました。なり手不足の現状として、統一地方選挙における無投票率の推移を示され、推察される2パターンの提示がありました。都道府県議会会議選挙に見られる「傍観的なり手不足」、勝ち味の無い選挙に出馬しないケース。町村議員選挙では、議員報酬が低いなどコスパが悪いので出馬しない「必然的なり手不足」に分別されるのではないかと説明がありました。

そして、「岡谷市議会の挑戦」として 今井前議長から、①議会情報のオープン化 ②住民の議会への参加 ③議会機能の強化 ④議員の「なり手不足」対策について、一定の成果が見られたとの報告がありました。

次に南さつま市議会議員平神氏より、女性議員を増やす「鹿児島県の女性議員を100人にしよう」という目標を掲げて、実現した活動について報告がありました。

最後に白山市議会中野氏より「MGK みんなでギカイを考えるキカイ」の活動について報告があり、市民の意見を聞くと一定の成果があったと報告がありました。

《総括》

伊吹 元衆議院議長の基調講演のテーマ「主権を預かる誇りと責任」は、今まさに当議会に必要な理念に違いありません。松江市議会の議員構成は、1期10人、2期9人、3期3人4期以上9人と世代交代が進んでいます。議員としての心の在り方は、誰かから教わるもの

ではなく、自分で学んで身に着いていくもので、期数を重ねて深まるものかもしれません。

(様式3-2)

ただし、パネルディスカッションで、語られた通り今の時代には「メンター」の必要性も高まっていると考えます。

当議会では、今のところなり手不足にはなく、定数に対し毎回5人程度は多く立候補されています。しかし、議員年金制度が消滅した現在、厚生年金への加入などの老後の生活保障を確保することで、なり手不足に陥らない制度設計は必要だと考える。全国一丸となって、取り組むべきと考えます。

伊吹 元衆議院議長が言及された「議会が単なる追認機関であってはならない」ことと、清水議長の「対話の質」の向上は、本質の部分で同じことをだと感じている。

なり手不足解消のために、処遇改善に取り組むとき市民の皆様から「年に数日しか働かないのに、給料を上げるのは、どうしたものか」と言葉を向けられる。我々議員の情報発信が足りていないから、日頃の活動量や質が理解されていないのです。情報発信は、自分自身の為だけではなく、議員全体の事と捉え活動していくべきと思い至りました。